

世界の手話における 数のしくみ

～中途失聴から手話言語学研究の道に至るまで～

武蔵野市教育委員会では、生涯学習の一環として聴覚障害者が多くの市民とともに学ぶ機会を設けています。この講座は、どなたでもお気軽に参加いただける一般教養講座です（講座には手話通訳と要約筆記がつきます）。

今回は相良啓子さんをお招きし、海外留学や旅行会社勤務を経て手話言語学研究の道に至るまでのご経験と、世界の手話の数詞システムについてお話いただきます。



さ が ら け い こ
講師 **相良 啓子** 氏

《講師プロフィール》

手話言語学研究者/国立国語研究所研究系特別研究員

2010年から4年間、イギリスのセントラルランカシャー大学で手話類型論プロジェクトに携わる。2014年6月より国立民族学博物館に勤務し、日本手話および台湾手話などについて歴史社会言語学観点から研究し博士論文としてまとめる。

現在は国内における数詞以外のバリエーションにも着目し、国内で使われている手話を社会言語学的観点から研究を深めている。

2026 年 2 月 7 日(土)

【時間】 18:30～20:30（受付 18:00～）

【会場】 武蔵野プレイス 4 階フォーラム

【参加費】 無料 【定員】 100 名（先着順。当日直接会場へ）



【共 催】 武蔵野市聴覚障害者協会 武蔵野市教育委員会

【問合せ】 武蔵野プレイス生涯学習支援係

TEL : 0422-30-1901 FAX : 0422-30-1960

E-mail : gr-syougaku@musashino.or.jp



公益財団法人 楽しむ、出会う、わかちあう

武蔵野文化生涯学習事業団



ひと・まち・情報 創造館

武蔵野プレイス